

吾川支所管内より



手作り蒟蒻
左：生粉 右：普通



名野川で蒟蒻作りをして30年

鎌倉 京子さん(70歳)

30年前から蒟蒻作りを始めた吾川女性部員の京子さん。

旧吾川村の寺村地区で蒟蒻作りを手伝っていたことがきっかけだそうです。

5時間薪で炊いた蒟蒻芋を使って、今は生粉と普通の蒟蒻の2種類を作っています。

週に2日、水曜日と金曜日に作った蒟蒻を販売しているそうです。

いの町にも販路があるらしく、「お客さんが待っていているのが嬉しい」と話してくれました。京子さんの蒟蒻は中津溪谷横の笑笑茶屋でも食べる事ができます。

「吾北のしいたけ屋」

都会の会社員からしいたけ農家へ

小白 勇さん(61歳)
貴子さん(49歳)

2012年に神奈川県から移住してきた小白さんご夫婦。元会社員の勇さんは、いの町へ地域おこし協力隊員として3年間任期を全うする中、椎茸農家へ転身しました。貴さんは宿毛市の出身の元会社員。2人とも椎茸の事を一から学び、失敗しながら取り組んでいるそうです。「菌床椎茸は温度と湿度の管理が難しい」と勇さん。

日曜市にも出店しているそうで、貴さんはお客さんから「おいしかったよ」と言われることがうれしいと話していました。「吾北のしいたけ屋」の菌床しいたけは、ネットでも買える他、日曜日、とさのさと、道の駅やハレタ、レストパークいの、などでも販売しています。

吾北支所管内より



収穫した菌床しいたけを乾燥させました

TEL 080-6537-1365
【営業時間】 9:00~18:00
【定休日】 日曜日
ホームページ
<https://gohoku-shiitake.com>

吾北のしいたけ屋
<https://gohoku-shiitake.com>

仁淀川
地区

から こんにちには
今月の〇〇 気になる人

日高支所管内より



夫婦でトマト農家へ転身!

おいしいトマトをお客様のもとへ届けたい

國森 友基さん(35歳)
真弓さん(35歳)

関西で建築関係の仕事をしていたという鳥取県出身の友基さん。関西で出会った四万十町出身の真弓さんと結婚後、1年前に日高村の地域おこし協力隊員として移住してきました。今年の4月に就農することを目標に、真弓さんも農家の元で学び、現在は二人三脚でトマトの苗を育てています。育てた苗は33アールのハウスで育てます。

協力隊員に転身することは人生のポイントとなる決断だったと話す友基さん。就農してからは、夫婦で過ごす時間も増えたことがとても嬉しいそうです。これからはJAへ出荷するので、そこに見合ったトマトを作っていきたいと意気込みを教えてくださいました。がんばれ〜☆

「愛子ちゃん大好き!」

仲よし姉弟

松本 愛子ちゃん(小4)
悠央くん(小1)

「愛子ちゃん!」「ハル〜!」と呼びあう仲よし姉弟♪ 愛子ちゃんはイラストを描くことが好き! たくさんイラストを描いたスケッチブックを見せてくれました♪ 悠央くんはチラシや空き容器を工夫して、おもちゃを創作! 駆けっこも得意です。

2人が最近ハマっているのは「ストリートビュー」でお散歩! インターネットの地図アプリでバーチャルな遠出を楽しむ、夏休みでした♪

土佐市支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



小松謙太郎さんのほ場を視察する部員ら

1 営農

佐川新苺部会 恒例の園巡り開催

佐川支所苺部会は8月29日に園巡りを開催。NTT、普及所、佐川町、地域おこし協力隊、JA職員ら26名が参加しました。

当日は、正午から黒岩地区にある横島享さんの圃場に集合。圃場に並んだイチゴの苗の前に、葉の色や根の張り具合を確認し、意見交換を行いました。

横島さんの後は、小松謙太郎さん、今年から苺農家に転身した徳弘跳一郎さんの圃場を巡回しました。

参加した関係者らは、JA指導員の説明の下、苗やハウスの造りを見て回りました。

この園巡りは、40年以上前から催されているそうで、20年以上前から参加している部員は、「自分のところがある状況なのか知ることができる」「比較してみたいという気持ちで話を聞いていました。また、長年苺作をしていると、どうしてもやり方が自己流になると、新しい人のやり方を学ぶ機会にもなるという声も聞こえてきました。

園巡り終了後には勉強会を開催し、夕方には親睦会で交流を深めました。

2 販売

日高ライスセンター 順調に稼働中



運んできた籾を眺めるいの町の生産者

日高ライスセンターでは今年も順調に籾摺り作業が行われました。ライスセンターは平成10年から稼働を開始。平成22年に品質向上を目的とし光選別機を導入しました。令和5年には、老朽化に伴い乾燥機4基を入れ替え、現在は順調に稼働しています。年間取扱量は約190t。利用者数は80人程度。いの町など他の地区の利用者も来ますが、約80パーセントが日高村の生産者ということです。

日高支所営農経済課の森下誠二課長は「生産者減少により、近年、共同利用施設の運営が厳しくなっている。ライスセンターは機械代が高額であり、日高ライスセンターもギリギリの運営状況である。日高村は水稲農家が多く、当センターは利用者にとって無くてはならない施設であると認識している。今後も運営を継続できるように、多くの生産者に利用していただきたい」と話していました。ライスセンターご利用希望の方は日高支所営農経済課0889-2011620までお問い合わせ下さい。

3 スクール

夏休みの工作に！ 新聞バッグ作り教室



児嶋亮介先生（手前左）

8月15日、佐川町でライフスクールが行われました。しまんと新聞バッグインストラクターの児嶋亮介先生の指導の元、子ども達を含む10人の参加者が新聞バッグ作り挑戦しました。今回は幼稚園児から中学生までの少年少女達も参加しました。持ち手の部分を作製するのには、くるくると新聞紙を巻いたり、糊を沢山付け過ぎて破れてしまった新聞紙の修復作業に頭を悩ませていました。子ども達は新聞紙に気になった写真があると、切り抜いてバッグへ貼りつけるなどバッグ作りを楽しんでいました。

4 組織活動

水引細工を学ぶ 女性部高岡支部



水引細工に挑戦する部員ら

女性部土佐市地区高岡支部は8月7日、土佐市で水引細工を学びました。近藤有佐さんを講師に招き、部員16人が参加。基本のあわじ結びを学んだあと、梅結びや猫、ウサギなどのモチーフも学びました。

最初は苦戦した部員らも、先生のサポートで完成させると、選んだ水引の色で、同じモチーフでも雰囲気異なる様子に驚き、違いを楽しみました。

「手先や頭を使うので、脳トレ、ボケ防止に最適！」と喜びました。

5 営農

日高村沖名地区にて ドローン農薬散布



散布を始めるドローン

8月28日、日高村沖名地区にて入交アグリ協力の下、ドローンによる農薬の散布が行われました。この日が今年初めての散布となった日高村沖名営農組合の矢野孝明さんは「昨年伊野や吾北でドローン散布をしていただいたのをJAの営農渉外から紹介され、興味があった。今年のお米は昨年よりもできが良い」と話していました。

今年も伊野と日高でのドローン散布。7月から8月にかけて実施の予定でしたが、台風の影響の為9月まで延長しました。

6 販売

おいしい新米を食べてね！ 土佐岩戸米営農組合



品質を確認する検査員

土佐岩戸米営農組合は8月24日、2023年産の初出荷を行いました。土佐市の波介集出荷場に2072袋（1袋30kg）を15人が出荷しました。

とさし営農経済センターの山本博憲営農販売課長は「生産原価の高騰を販売価格に転嫁できない、厳しい状況が続いている中、今年も生産者の努力で高品質でおいしい新米ができた。米・食味分析鑑定コンクール国際大会にて金賞を頂いた『土佐岩戸米』をもっと多くの人に知ってもらいたい」と話しました。

えいのう〜



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

ラディッシュ サラダの彩りに

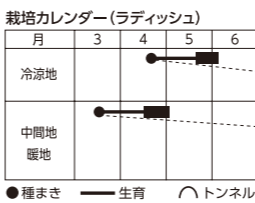
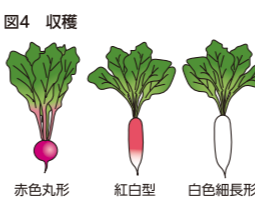
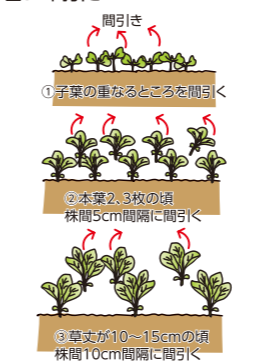
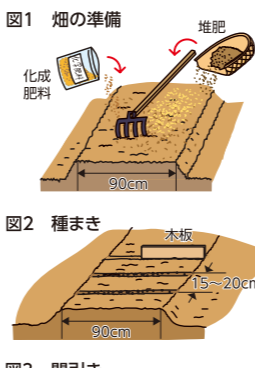
園芸研究家 ● 成松次郎

ラディッシュはダイコンの仲間、欧州系の極早生種です。根は小さく球形や細長い形で色は白、赤や紫色があります。別名をハツカダイコン(二十日大根)というように、適期には1カ月程度で収穫できます。

中間地ではほぼ周年種まきができます。種は少なめにまくか、間引きを早めに行つて発芽時の軸の伸び過ぎを防ぎます。

「品種」代表的な品種は、早生で赤丸の「ニーロメット」(タキイ種苗)、紡錘(ほうすい)形で紅白の彩りの「紅白」(サカタのタネ)、太さ1cm程度の白色細長のミニダイコン「雪小町」(サカタのタネ)など、かわいらしい品種がたくさんあります。

「畑の準備」種まき2週間前に1平方メートルあたり苦土石灰100g、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)



100gと堆肥2kgを全面にまきます。よく耕し、幅90cm程度の栽培床(ベッド)を作り、平らにならしておきましよう(図1)。

「種まき」条間15〜20cmのまき溝をベッドに直角方向に切りまします。まき溝は木板を土に押し付け、溝を付けたら深さが一定になります(図2)。種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を薄くかぶせます。その後、乾燥や強い雨を防ぐために、べたがけ資材で覆います。

「間引き」初め(図3・1)は本葉が見えたら頃に重なっているところを抜き取ります。その後(図3・2)、葉が触れ合う程度に間引きをし、最終的(図3・3)に10cm間隔にします。最後の間引きのときに1平方メートルあたり化成肥料30g程度を条間にまき、根元に軽く土寄せします。

「病害虫の防除」アオムシやコナガの被害から守るには、べたがけ資材や防虫ネットの利用が有効です。種まきから収穫までネット被覆をしても良いでしょう。

「収穫」肥大が進んだ株から順次収穫します。赤色丸形の品種では直径2、3cmが適期です(図4)。育ち過ぎるとスが入ったり(中心部に空洞ができる状態になること)、球に亀裂が入ったりします。

栽培カレンダー(ラディッシュ)

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
冷涼地			●	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
中間地 暖地				●	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■

●種まき ○トンネル ■収穫



電子レンジで作るお手軽副菜♪

<材料>(4人分)
・なす…2本(約300g) ・味噌…大さじ2 ・本みりん…大さじ3
・砂糖…小さじ2 ・エコープかつおだし…小さじ1 ・すりごま…小さじ1

<作り方>
① 茄子はヘタを切り落とし、皮目を竹串でついてラップで包み、電子レンジ(500W)で約4分間加熱する。
② ①の茄子のあら熱がとれたら、縦8つに割り、4〜5cm長さに切る。
③ 耐熱ボウルに味噌と本みりん、砂糖、エコープかつおだしを入れて混ぜ合わせる。
④ ③はラップをせずに電子レンジ(500W)で2分加熱し、すりごまを混ぜて和え衣とする。
⑤ ②の茄子を④の和え衣で和えて完成!

<コツ・ポイント>
まるごとレンジで加熱することで、トロトロの食感に!少量からでも調理できるので、お弁当にもおすすめです☆



ためてみて!! イチオシ商品
エコープ かつおだし

Aコープ・直販店で取扱中!
(店舗によっては取り扱っていない場合もございます。ご了承ください)

ズッキーニの栽培 ポイントについて

「ズッキーニ」は非常に根が弱い作物で、発芽温度は28°とされています。そのため、収量に大きく影響があると考えられるのは、初期の根の活着です。初期の樹をしっかりとつくるのが非常に大事になります。

雑草や乾燥を防ぐために、マルチを張りましょう。透明マルチや、黒マルチ等のようなマルチでもよいです。夏時期に葉がやけやすいなら、穴のサイズを大きくすると良いです。定植して、約20日から40日程度で雌花が見え始めます。

ポイント
1 節目から3 節目の実は、色が濃く未成熟果になりやすいため、交配前から摘果を行うことをおススメします。摘果を行うことで、次の雌花の生育につながり、後半まで収穫が安定します。



↑1 節目から2 節目を摘果後の様子

●管理について

水の管理は、生育ステージによって異なります。根の活着期はたっぷりとかん水し、その後、根の根域を広げるために、水を控える必要など状況に応じた管理が必要です。しかし、水を切りすぎると、雌花がつきにくいため注意しましょう。
収穫20日頃を迎えると、葉が大きくなり実が当たらにくく、通気性も悪くなるため、摘葉をしましょう。

●ズッキーニの病気について

作中に草勢が強くなり、茂つてくると葉がいつぱいになり、「軟腐病」が発生しやすくなります。そのため、実を太らすために長く置くよりは、早期出荷が望ましいです。予防薬剤としては、「クプロシールドフロアブル」など、銅剤がおススメです。また「うどんこ病」は、葉のストレス(葉の老化)または、肥切れ、水切れなどが関係してくるため、「パンチヨTF顆粒水和剤」などの薬剤を定期的に行っていくましよう。



営農指導員 中山 大路

今月の病害虫対策 【ニラ 白斑葉枯病】 (灰色カビ病)

これから気温が下がってくると、ニラ栽培において白斑葉枯病の発生が多くなります。しっかりと対策を行い、白斑葉枯病の発生を防ぎましよう。

【被害の様子】

- ・葉に白色の小斑点を散生し、後に円形ないし長紡錘形の5〜15mmの病斑となる。
- ・病斑の中央部は灰白色、周辺部は淡黄色を帯び、健全部との境界は不明瞭。
- ・病斑がさらに進展すると、葉先や葉縁から枯れ上がり枯死する。(枯死部に黒色小粒の菌核を多数形成)

【発生条件】

- ・一次伝染源は、被害葉とともに土中のこった菌核。二次伝染源は、被害部に形成された分生子。
- ・発病適温は比較的低温(10〜20℃)の風通しが悪く、多湿環境下では発病と伝染が盛んになる。葉が濡れること。
- ・葉が濡れることで侵入・発病する。(連続12時間)

【対策のポイント】

- ・ハウス栽培では、換気を十分にを行い、通路などへもみ殻などを施用し、乾燥させるようにする。
- ・露地栽培では低湿地や排水不良地をさける。
- ・捨て刈りした場合、被害葉からの感染を防ぐため、被害葉は圃場周辺に放置せず持ち出し処分する。



JA高知県仁淀川地区 コスモス営農経済センター 営農指導員 岡林 準平



↑白斑葉枯病①



↑白斑葉枯病②

※JA版農業電子図書館より一部記事抜粋

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

甘いものには目がありません。あと、今年のよきこいは観戦側でしたが来年は踊りたい。
(伊野支所管内・Kさん24歳)

浜幸のメロンケーキ、買いに行きます。
(土佐市支所管内・Aさん46歳)

地元土佐市新居の「プリンセス」が「浜幸」から販売されました。とても美味いですよ！皆さん食べてください！
(新居支所管内・Tさん74歳)

▼ケーキは6月の期間限定販売品なので、食べてみたい方は来年また試してみてください。
私自身、大阪から高知に転勤で移住しているので全てが新鮮です。大阪にいる時には経験したことないことも多く、田植や、田舎暮らし、スーパーでの買い物なども楽しんでます。
(斗賀野支所管内・Uさん35歳)

▼私も以前大阪に住んでいたことがあるので共感します。これからも高知ライフ楽しんで下さい。
毎月、楽しみに見えています。うちの台所を見て、つくれそうなお料理には挑戦させてもらっています。小学校4年生の子どもが夏休み中なので、半夏だんごと一緒にチャレンジしてみます。
(斗賀野支所管内・Nさん42歳)

▼ありがとうございます。作られてみて子どもさんの反応はいかがでしたでしょうか？
うちの台所が楽しそうです。「半夏だんご」早速作りました。素材な味とミョウガの緑がキレイでうまそう出来たと自画自賛しています。それぞれの地域で古くから作られて継承されていく料理に惹かれます。
(佐川支所管内・Kさん76歳)

▼美味しく出来たようですね。また、いろいろ作ってみてください！
庭の草刈りがたいへんだったので、半夏だんごを作ってたいた。作場や周りの通り道など、草刈りしているが今年は雨が多くな順に進まないうち又生えて伸びて大変です！！
(高支所管内・Iさん63歳)

▼草刈りおつかれさまで。今年は雨が多くなお天気も続きましたね。
佐川支所管内Kさん58歳の投稿を見て温かい気持ちになりました。実の母は他界していますが、今になっても色々聞いておけば良かったなと思います。今は主人の母に教えてもらっていますが、それを娘にも教えていたらと思います。
(土佐市支所管内・Oさん51歳)

▼他の方の投稿を見られて温かい気持ちになられたのは良かったです。
食べる事も大好きですが、お花に癒されます。周りのお花で、小さな花籠を作りたいです！
(伊野支所管内・Oさん73歳)

▼私もお花に癒される方なので、「どきどき」でお花を時々買っては花瓶に生けています。
エコーマーク品の紹介、品物の紹介だけでなくそれを使うた調理例があるのがいいですね。早速作ってみよう計画しました。當農指導員の方に野菜の種類相談をしたところ、適切な指導をいただきました。ありがとうございます。
(高支所管内・Hさん79歳)

▼當農指導員も皆さんのお役に立てられる日々勉強しています。これからもJAをよろしくお願ひします。
エコーのフライドポテトが今度購入したいと思っさうけになりました。ほめられれば美味しく使え勝手が良いので愛用しています。
(高支所管内・Kさん58歳)

▼ありがとうございます。ほめられれば黒酢バージョも出ています。鶏肉と一緒に炒めるだけで一品おさが出来上がりますよ！
エコーマーク品、私の地区にもエコーがあればいいのに。
(高支所管内・Nさん78歳)

▼JAへお問い合わせ頂きましたら、エコーマーク商品のお取り寄せも可能です。一定額をご購入いただきますと配送料無料となっております。
エコーマークに3つこのこだわりがあったなんて…初めて知りました。勉強になりました。
(斗賀野支所管内・Iさん59歳)

▼また商品を使ってみたいですね。
安全・安心のエコーマーク品をいつも購入しています。レシビは参考にし、とても良かったです。
(伊野支所管内・Nさん73歳)

▼きゅうりの漬物の素の使い方が漬物以外であったことを初めて知りました。レシビをぜひ活用下さい。
組織活動ライオンスクラブフラーアレンジメント教室の濱田達也さん。どこかで聞いた名前が息子の同級生ではないかな？と思ったりしました。
(佐川支所管内・Fさん74歳)

▼ライオンスクラブでは11月21日(土)がストラルホールでまた濱田講師をお招きしてフラーアレンジメント教室を開催予定です。都合よろしければ、是非いらして下さい。
毎回頭の体操だと思えばスバルに挑戦します。答えがわかるとスッキリ感を味わっています。
(佐川支所管内・Kさん63歳)

▼またスバルに挑戦されてみてくださいね。
自分の知らない農業についてのお話が次山掲載されているので、新たな発見が多く、毎号楽しみにしています。読みやすくて面白い広報誌をいつもありがとうございます。これからも頑張ってください。
(高支所管内・Iさん29歳)

▼励みのお言葉ありがとうございます。これからも楽しい記事作りを心掛けます。
自分たちが米を育てることの大変さを身をもって体験できるとして、体験イベントを通して農業に親しんでもらえたらいいですね。
(伊野支所管内・Hさん67歳)

▼子どもたちが米を育てることの大変さを身をもって体験できる取り組みは素晴らしい！スーパーでは何種類も県外産のお米を販売していますが、我が家は必ず高知県産米を購入しています。米農家さんが大事に育ててくれたお米を感謝して美味しくいただきます。
(高支所管内・Uさん45歳)

▼子ども時代から農に触れると少しは農や食への関心が違っと思います。
食へさかりの子も3人いるので夏休み中の食費が大変です。お米があたりますよ！
(高支所管内・Fさん56歳)

▼切望が伝わってきます。お米、美味しいですね。先日、嶺北地区の女性部員さんと運営する「牛のうどん屋さん」で土佐町の相川米を食しました。美味しくおかわりをしました。
当たらん もう4年 いきてる間に
(高支所管内・Fさん76歳)

▼更に切望が伝わってきます。長年のご応募ありがとうございます。コメントを沢山書いて下さると当たり易くなるようです。是非またチャレンジされてみてくださいね。
最近一人だと暑い、酢の物とか簡単なもので食事済んでいます。からあげ、おしそです。野菜もたくさん取らんとバナナ味です。
(高支所管内・Kさん71歳)

▼私も暑いと食欲が落ちて素直な簡単な食事で済ませてしまいます。最近はこのままでは身体の衰えを加速させてしまおうと思、目に養分野菜や果物を摂ることを目標にしています。病気をなごかすは嫌なので、予防が大事ですね。
「仁淀川地区からこんにちは」のみんなの明るい笑顔が、とても、素敵でした。ほこります。
(斗賀野支所管内・Kさん56歳)

▼笑顔はどんなお化粧よりも勝りますね。
表紙の写真に感動しました。
(土佐市支所管内・Iさん71歳)

▼表紙は89歳のオクラ生産者の方でしたね。私たちも負けずに頑張りますよ！
輝け！新農人、頑張ってください！
(斗賀野支所管内・Aさん77歳)

▼応援よろしくお願ひします。今年は徳弘さんの初収穫の年回ります。佐川海部会が出荷する「ゆめのか」が販売されました是非お買い求め下さい。
農業に命をかけてる若者の特集やって下さい。励みになると思います！！無農業者野菜作ってる人、大変な中、夫婦でやってみたら、応援します！！
(佐川支所管内・Oさん60歳)

▼輝け！新農人のコーナーがそのページに当たると思っています。取材をして欲しいという方がお近くにいらしゃいます。是非情報提供をお願いいたします。
茶畑、ゼマイ畑、猪に掘られていましたが、シヨウガ畑は大丈夫でした。畑の周りにシヨウガを植えてみようと思つてます。
(高支所管内・Tさん67歳)

▼猪の被害はあちこちで耳にします。シヨウガ畑、無事で良かったですね。
若い人が農業がんばってますね。私もまだまだがんばります。「えいとう」を参考に種をまきます。作物は元気よくれますね。
(高支所管内・Mさん84歳)

▼生き物は手をかけただけ返ってきます。がんばって下さい！
次回のコーナーも楽しみにしています。がんばって下さい！
(高支所管内・Fさん40歳)

▼ありがとうございます！楽しみにして下さっている方がいらしてるとやり甲斐を感じます。
7月号の読者プレゼントの「四万ポンドしゃぶしゃぶ」当選しました！3ポンドのお肉しか買わない庶民が、こんな素晴らしいお肉を食べていいかと震えつつ届いたその日に、しゃぶしゃぶ、お？お？お！！おいしい！！
「！！！！」お肉は脂がおいしいこという事だったのか。あまりの美味しさに我が家の食卓が弱肉強食のサバイバル状態になってしまった事は、言うまでもありません。笑
生産者さん、ごくりさん、そしてちろろん隊さん！ありがとうございます！！
(高支所管内・Nさん77歳)

▼私もお肉は3ポンド千円、安い曜日での購入でまとめ買いとしては冷凍しています。そんなにお肉美味かったんですね。食べてみます。生産者の方も喜んでいただく生産のし甲斐がありますね。
なんとが夏ハテもせずに過ごしています。少しでもスタミナのあるものを作ろうと思、色々作っています。スタミナ漬は、祖父も好きそうな真材実材で作ってみようと思つてます。
(土佐市支所管内・Uさん27歳)

▼良いお孫さんですね。スタミナ漬けて夏を乗り切りましょう！
このようにまきか和紙の方が出ると思つてもみなかな。思わず、手もこぼれ書いていた手すき和紙の袋に書きました。
(伊野支所管内・Mさん68歳)

▼取材依頼をしたところ快く応じて下さいました。
今月の俳句・川柳
紫陽花の道 歩みつつ 母想つ
(高支所管内・Hさん79歳)